



## J-MICC Study 静岡地区の進捗状況

日本多施設共同コホート研究（ジェイミックスタディ）は、生活習慣や遺伝的体質とがんなどの生活習慣病との関係を調べるため、2005年にスタートしました。その後、多くの皆様にご協力をいただき、日本で最大規模の分子疫学コホート研究に成長しました。おかげさまで、J-MICC連合を含めた全国の研究協力者数は、**2014年6月に目標の10万人に到達**しました。

このうち静岡地区では、2006年から2007年にかけて聖隷予防検診センターの人間ドックを受診された方々に研究参加をお願いし、約5,000人の方々にご協力いただくことができました。参加登録後、研究の柱となる生活習慣病の発症や、生活習慣病に関連の深い透析の状況（2015年度より）を調べるため、研究参加者の皆様には「健康状態のおたずね」への回答を年に1回お願いしております。

現在、静岡地区の独自研究、ジェイミックスタディ全体の研究、他施設との共同研究の3本柱で、様々な研究が進行中です。昨年、防衛医科大学との共同研究成果の一部がプレスリリースされました（「**お酒に弱い遺伝子を持つ人は痛風リスクが低い**」<http://ndmc-ipb.browse.jp/pressrelease.shtml>）。今後も研究成果の還元、発信に力を注いでまいります。引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

## J-MICC Study 10周年記念シンポジウム 開催報告 (<http://www.jmicc.com>)

2005年にがん特定領域研究事業として開始されたジェイミックスタディが10周年を迎え、次の10年を見据えての記念シンポジウムが、2015年12月11日に愛知県がんセンターで開催されました。

J-MICC研究に携わってきたメンバーや疫学研究の重鎮・リーダー的存在である専門家が一堂に会し、疫学研究の歴史やJ-MICCの歩み、今後の展開などが語られました。シンポジウムは、開会の挨拶から始まり、来賓の挨拶、その後、第1部、2部、3部の形で進行了しました。

第1部は、静岡地区責任者の内藤真理子が座長を務め、浜島信之氏（前主任研究者）、田中英夫氏（現主任研究者）、若井建志氏（中央事務局長）の3名がそれぞれ、J-MICC研究が歩んできた道程と今後の展望について講演しました。

J-MICC研究では、日本国内にあるゲノムコホート研究が互いに連携・協力して、将来の統合解析が可能となることを重視しています。第2部は、理研ゲノム医科学研究センターのオーダーメイド医療実現化プロジェクトや東北メディカル・メガバンクなど、国内の主なバイオバンクならびにゲノムコホートの運営に携わる6名の研究者が登壇し、日本における研究の現状と今後の展望について講演を行いました。

第3部は前半・後半に分けて行われました。前半は、J-MICC研究に関連した研究の実績について、2名の研究者により、遺伝子多型を用いた研究報告がなされました。3部の後半では、全12地区のうち7地区から若手研究者が集ってパネルディスカッションが行われ、J-MICC研究にかける各々の思いが語られました。明るく活気に満ちたムードで、シンポジウムは締めくくられました。



## J-MICC Study各地区の進捗状況（参加者数は2016年12月時点）

こちらでは、現在までのジェイミックスタディ各地区の進捗状況をご報告します。

研究機関名（参加者数）	進捗状況
千葉県がんセンター（8,098名）	印西市、我孫子市、柏市の住民を対象に、ベースライン調査を実施。現在、第二次調査および追跡調査実施中。
静岡県立大学（6,337名）	静岡県内の人間ドック受診者および企業健診受診者を対象に、ベースライン調査を実施。現在、第二次調査および追跡調査実施中。
愛知県がんセンター（9,091名）	愛知県がんセンター受診者を対象に、ベースライン調査実施。現在、第二次調査および追跡調査実施中。
名古屋市立大学（7,580名）	岡崎市医師会公衆衛生センターの人間ドック受診者を対象に、ベースライン調査実施。現在、第二次調査および追跡調査実施中。
名古屋大学・静岡地区（5,008名）	聖隷予防検診センターの人間ドック受診者を対象に、ベースライン調査と第二次調査を実施。現在、追跡調査実施中。
名古屋大学・大幸地区（5,153名）	名古屋市の住民を対象に、ベースライン調査と第二次調査を実施。現在、追跡調査実施中。
滋賀医科大学（4,594名）	高島市の住民を対象に、第二次調査および追跡調査実施中。
京都府立医科大学（6,193名）	京都市内の人間ドック受診者および地域住民、京都府内の企業健診受診者を対象に、ベースライン調査を実施。現在、第二次調査および追跡調査実施中。
徳島大学（2,440名）	徳島県総合健診センターの人間ドック受診者および徳島県内の企業健診受診者を対象に、ベースライン調査を実施。第二次調査・追跡調査実施中。
佐賀大学（12,068名）	佐賀市の住民を対象に、ベースライン調査と第二次調査を実施。現在、追跡調査実施中。
鹿児島大学（7,640名）	5島（奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島）と本土3市で地域住民を対象にベースライン調査を実施。現在、第二次調査・追跡調査を実施中。

### 事務局からのお知らせ

J-MICC Study 静岡地区の主な名古屋大学スタッフです。  
どうぞよろしくお願いいたします。



#### 研究に関する問い合わせ先：

- ◆名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学  
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65  
TEL 052-744-2132（平日9:30～16:30）  
FAX 052-744-2971
- ◆聖隷予防検診センター 健診看護課 担当：藤城  
〒433-8558 浜松市北区三方原町3453-1  
TEL 053-439-1115（平日9:00～16:30）

これまでに、静岡地区の皆様より得られましたデータから、学术论文61編、学会発表131題を発表させていただいております（2016年5月時点）。本研究にご参加いただいている皆様に感謝いたしますとともに、今後も引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。

静岡地区のホームページがリニューアルしました！！

<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/yobo/jmicc/shizuoka/>